
そして世界が終わる頃に・・・

モンスター

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

そして世界が終わる頃に・・・

【Nコード】

N2005Z

【作者名】

モンスター

【あらすじ】

我々は長い間の平和な暮らしの中で当たり前に感じていると思う。だがそんな当たり前な世界が突如、地獄へと変わったら人々は生き残れるだろうか・・・

第0章 始まり（前書き）

久しぶりのオリジナル小説です。完成度の高い小説を目指します。

第0章 始まり

皆は今の生活が普通のことだと思っているだろう。
長い間この生活を続けていたら誰だってそう思うだろう。
だがそんな世界は一つの出来事により崩壊した・・・

12月30日 PM11時 東京のあるアパート

どこからかドアを叩いている音がした。

その男が目覚めすと確かに玄関のドアを叩いてる馬鹿がいた。

「クソ、誰だ？こんな時間に」

男は玄関まで行くとドアを開けた。

「おい！うるさ・・・い・・・ぞ・・・」

いきなり肉が腐ったような匂いがした。

それもそのはずだろう・・・目の前には全身血だらけの男が居た。
目は白目。

腕は変な方向に捻じれ、さらにはその肉は腐っていた。

「お、おい！近寄るな！」

だが奴はお構いなしに俺へと近づいてきた。

奴が近づくとたびに臭いはひどくなった。

なんとか部屋の中に戻ったがあることに気づいた。

玄関の扉を開けたままなのを・・・

案の定、奴は入ってきた。

「や、やめろ！うわーーーーー」

奴は俺を押し倒し腕を噛み始めた。

最後に見えたのは噛みちぎられた俺の腕だった・・・

これは今後起きる大事件の小さな始まりだった・・・

第0章 始まり（後書き）

御意見、御感想、御待しております。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2005z/>

そして世界が終わる頃に・・・

2011年12月7日06時47分発行